



取扱説明書

Smart Reco *WHSR-1040*

New Standard of Smart Car Life

もしも、事故に巻き込まれたら

まず落ち着いて、警察官を呼び、相手の情報を確認します。
けが人がいたら救急車も呼びます。



周りを見て、目撃者がいるか確認。
携帯のカメラなどで事故直後の現場を撮影。



映像を再生できる機種であれば、
到着した警察官と一緒に事故時の映像を確認しましょう。



映像確認後、スマートレコの電源
をオフにして、事故映像が上書き
で消えないよう、SD カードを本
体から取り外します。
※パソコンに映像データをコピー
したら、本体に戻します。



保険会社への連絡や、病院に診察へ行くのもお忘れなく。



目次

01. 製品使用前の注意事項	4
02. 禁止事項	5
03. 製品使用時の注意事項	7
04. 製品の特長	9
05. 構成品	12
06. 各部の名称及び機能	13
07. microSDカード挿入 / 取り外し方法	17
08. 製品取付	18
09. 取付手順	23
10. 本体電源をOFFにする方法	27
11. 製品機能の説明	28
12. 液晶タッチパネル	31
13. 超低電力モードについて	60
14. スマートフォンアプリ設定方法	61
15. ファームウェアのアップデート	70
16. 専用ビューアーをインストールする	72
17. 専用ビューアーのメイン画面の説明	73
18. ボタンの説明	74
19. 全画面表示	77
20. デジタルズーム	78
21. 運行記録	79
22. ファイルを開く	81
23. microSDカードの保存データ	82
24. 映像保存方式	84
25. 製品仕様	90
26. よくあるご質問	92
27. 保証書	95

本製品はタッチパネル搭載のドライブレコーダーであり、車両の事故や衝撃を感知した際の前方映像 / 後方映像 / 左側映像 / 右側映像 / 室内音声を保存し、事故原因の分析を補助するデータを記録する製品です。

- SmartReco®は、株式会社ホワイトハウスの登録商標です。
- 本説明書の全ての内容は、著作権法により保護されます。
- 本説明書に記載されている製品名その他のブランド名は、該当する各社の標章、商標または登録商標です。
- 不適切な使用及び装着、改造による故障や事故に対して弊社は責任を負いません。
- 安全運転のために運転中の画面操作はおやめください。
- 本説明書に使用されるイメージ画像は、実際の製品とは異なる場合があります。
- 使用前に本説明書を読んで、製品を正しく安全にご使用ください。

■ 本製品は、車両安全運転補助製品です。事故発生時、全ての責任は使用者にありますので、製品の目的に合う使用をお願いします。

■ 本説明書は、製品機能向上のため、予告無しに変更する場合があります。

**警告**

この表示の欄は、『死亡または重症などを負う恐れがある』内容です。

**注意**

この表示の欄は、『損傷または物的損害が発生する恐れがある』内容です。

**警告**

- ・運転中に操作をしないでください。
事故やけがの原因となります。
操作やmicroSDカードの抜き挿しは、必ず安全な場所に車両を停車させてから行ってください。
- ・分解、修理及び改造をしないでください。
修理やサービスは必ずお近くの正規ディーラー / 販売店へご依頼ください。
- ・水に濡れた場合、本製品を絶対に熱器具（電子レンジ、ドライヤー等）で乾燥させないでください。爆発や変形、故障の原因となります。
- ・濡れた手で触らないでください。
火災、感電、故障の原因となります。
- ・コードを挟んだり切ったりしないでください。
通信異常の原因になるだけでなく、断線やショートにより火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器内部に異物を入れないでください。
故障や火災、感電等の原因となります。特に乳幼児には近づけないよう、ご注意ください。
- ・運転の視界の妨げになる場所に絶対に取り付けしないでください。
事故やけがの原因となります。
- ・エアバッグの妨げになる場所に絶対に取り付けしないでください。
エアバッグが正常に作動しなかったり、作動したエアバッグで本製品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。
- ・本製品を故障や異常のまま使用しないでください。
万が一、故障や異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お近くの正規ディーラー / 販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故や火災、感電の原因となります。
- ・microSDカードは乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・本製品は外れたり、落下しないようにしっかり取り付けてください。
固定が弱いと、走行中に外れる、落下する等、事故やけがの原因となります。また、振動により性能が低下する可能性があります。
- ・本製品は洗浄しないでください。
化学物質（ベンジン・シンナー・アルコール類など）は使用しないでください。爆発や火災が発生する可能性があります。お手入れする場合は、電源コードを本体から抜き、電源OFF状態になったことを確認後、水を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、乾拭きします。



注意

- ・駐車監視モードは長時間（約24時間以上）使用しないでください。長時間使用したい場合は、超低電力モードもしくはUSB-DC12V電源ケーブルを使用して車両バッテリーを消耗しないように運用してください。

車両を長時間使用しない場合は、駐車監視スイッチをOFFにしてください。また、電源遮断機能が働いてもエンジン始動が困難になる可能性があります。また、電源遮断機能作動後は、映像は記録されません。

- ・本製品を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

- ・炎天下や高温または極寒になる場所に長時間放置しないでください。

本体の温度が動作温度（-20～70℃）外になりますと、本体の機能が正常に作動しなくなります。また、サンシェードとフロントガラスの間に本体があると、本体が高温になり、正常に作動しなくなる場合があります。一部の車種にサンバイザーやサンシェードと前方カメラ、後方カメラが干渉する車種があります。その場合、サンバイザーやサンシェード等の使用を抑えるか、撮影に影響のない範囲で使用してください。

- ・ケーブル / コード類は運転や乗降の妨げにならないように配線してください。

- ・本製品はオフロード等の舗装されていない道路を走行する車両や競技車両には使用できません。

- ・本製品で記録した映像は個人の使用目的以外では、著作権法・個人情報保護法上などの規則のため、無断で使用する事はできません。また、使用方法によっては被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合があります。

- ・本製品は事故を防止する装置ではありません。また、状況によっては映像ファイルが記録されない場合があります。

- ・本製品を取り付けたガラスは常にきれいにしてください。

汚れている場合は、正常な走行映像を記録する事ができませんので、ご注意ください。

- ・車両のガラス面に光が反射して、映像の品質が著しく低下する可能性があります。

- ・着色ガラスやカーフィルムの濃度により、特に夜間など、画質が低下する可能性があります。製品取付後に撮影テストを行い、映像品質を必ずお確かめのうえご使用ください。

- ・LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、正確に撮影されない場合があります。信号で判断できない場合は、前後の映像や周辺の車両状況から判断してください。

- ・本体の自己診断機能により、電源をONにしてから起動するまでに約25秒の時間を要します。

本体が起動するまでは映像が記録されませんので、本体が起動したことを確認してから、車を運転してください。

【保証と責任の範囲】

- ・本製品は安全運転のための補助装置です。本製品の故障による損害、データの損失による損害、その他本製品を使用することにより発生した損害に対して弊社は一切の責任を負いません。
- ・重要な映像を録画した場合、ファイル消失を防ぐために、microSDカードを本体から取り外し大切に保管してください。
- ・本製品は車の運行状況を録画 / 保存することを目的とした装置ですが、予期せぬ事由により、録画されない場合や、録画されたファイルが再生できない場合があります。
- ・本製品を分解、修理及び改造等をした場合の故障及び事故に対して弊社は一切の責任を負いません。
- ・不適切な使用方法、取り付けによる故障及び事故に対して弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品並びに取扱説明書は品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。
- ・経年変化や、使用状況によってはバックアップ機能が作動しない場合があります。
- ・本製品に対する全てのソフトウェアおよびハードウェアの著作権は弊社に帰属します。
本製品に関する著作権及び知的財産権を無断で使用、複製、加工、配布することは絶対におやめください。
- ・本製品は安全運転のための補助装置です。事故の検証に役立つことも目的の一つですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- ・衝撃が発生した時の映像が記録されなかった場合や記録されたデータが破損していた場合の損害、本製品の故障や本製品の使用によって生じた損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本説明書に記載されている事項に従わずに使用し、事故や故障が発生した場合、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品をいたずら、及び他人の迷惑になる行為に使用しないでください。
また、本来の使用目的以外の用途では絶対に使用しないでください。弊社は一切の責任を負いません。
- ・PC本体の性能により一部ビューアーが正常に再生されない場合があります。
映像再生がスムーズに行えるスペックが必要です。
※ 詳しくはP72をご参照ください。
- ・地図の表示にはインターネットに接続できる環境が必要です。
※ 詳しくはP73をご参照ください。
- ・本製品をご使用前に、必ず取扱説明書の記載事項をご確認いただき安全にご使用ください。
また、本説明書はいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・専用ビューアーのインストールはインターネットに接続した環境で行ってください。
インターネットに接続されていない環境でインストールすると正常にインストールされない場合があります。（※ 詳しくはP72をご参照ください。）

【 microSDカード使用時の注意事項 】

- microSDカードは必ず電源を切った状態で抜き挿しをしてください。電源が入っている時にmicroSDカードの抜き挿しを行うと、microSDカードが破損するだけでなく、本製品が故障する恐れがあります。microSDカードへのデータ書き込み中（LEDランプ点灯中）は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。microSDカードが破損するだけでなく、本製品が故障する恐れがあります。microSDカードを抜く場合は、本体の電源ON / OFFスライドスイッチをOFFにしてエンジンを切り、必ず本体の全てのLEDランプが消灯したことを確認してから行ってください。
 - ファイル保存中に電源が切断された場合、バックアップ機能を利用して最後のファイルを保存している間、LEDが暫く点灯します。LED点灯中はmicroSDカードを本体から抜かないでください。
 - 本体をご使用になる前に、microSDカードに映像が保存されるのを確認してからご使用を開始してください。また、定期的にmicroSDカードを点検してください。
 - microSDカードには本製品で記録されるデータ以外は保存しないでください。
 - 本製品が正常に作動しているか確認するために、1週間に一度は記録データの内容を確認してください。
 - 保存ファイルは定期的にバックアップをしてください。保存容量を超過した場合、一番古いファイルから上書きされるため、定期的にバックアップし、必要なファイルが削除されないようご注意ください。
 - 必ず弊社の指定する純正microSDカードをご使用ください。弊社指定microSDカード以外を使用されますと正常に録画されない場合があります。
 - microSDカードの定期的な動作確認を行ってください。2か月ごとを目安に定期的にPCまたはドライブレコーダー本体でのフォーマットを強くお勧めします。
 - 使用開始から6か月を超えたら、純正microSDカードの買い替えをご検討ください。
 - 安定した本体の動作を行うため、2か月ごとを目安にドライブレコーダー本体のファームウェアバージョンをご確認いただき、最新の状態に更新を行ってください。
- microSDカードは消耗品です。microSDカードには一般的に寿命があるため、長期間使用すると新しいデータが録画できなくなります。このような場合には新しいmicroSDカードをご用意ください。いかなる場合もデータの破損・消滅に対して、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
 - microSDカードへ書き込み中に、カードを抜くと、最後のデータが記録されませんのでご注意ください。これらの事象に対して弊社は一切の責任を負いません。
事故映像等の重要なデータは、上書き防止のためmicroSDカードを即座に本体から抜いて別の場所で保管してください。複数のmicroSDカードを所有されることをお勧めします。

※ 購入・詳細については、SmartReco公式ホームページをご覧ください。

■ 駐車監視モード

駐車中はモーションセンサー及び衝撃により、当て逃げ等必要な映像だけ鮮明に保存できるように駐車録画を行います。

※ 詳しくは、P27・P51～52・P85～87をご参照ください。

■ 前後左右4CH録画機能

室内に前方 / 後方 / 左側 / 右側のカメラを装着し、映像を録画する4CHドライブレコーダーです。

※ 詳しくは、P31～33をご参照ください。

■ 3.5インチタッチパネル

録画中の映像を3.5インチタッチパネルですぐ確認できます。

また、保存された映像の再生や、本体環境の設定も変更できます。

※ 詳しくは、P31～59をご参照ください。

■ 音声案内機能

音声案内でドライブレコーダーの動作状態を確認できます。

駐車監視モード中に当て逃げがあった場合は、エンジン始動時に音声案内が流れます。

※ 詳しくは、P28～30をご参照ください。

■ FHD高画質映像記録

走行映像、駐車監視映像を鮮明に保存できるよう全てのカメラで最適な解像度と視野角で録画します。

※ 仕様に関してはP90をご参照ください。

■ 前方カメラ・サイドカメラSTARVIS搭載

夜間の映像をより綺麗で明るく録画(保存)できます。

※ 仕様に関してはP90をご参照ください。

■ 前方カメラ・ナイトビジョン (HDR) 搭載

夜間の映像をより綺麗で明るく録画(保存)できます。

※ 仕様に関してはP90をご参照ください。

■ フォーマットフリー機能搭載

フォーマットフリー機能が搭載されており、microSDカードの定期的なフォーマットは不要です。

(ただし、本体の状態によりフォーマットが必要な場合があります)

■ 常時録画機能

走行中は60秒を1ファイルとして録画します。

※ 詳しくは、P84をご参照ください。

■ イベント（衝撃）強制録画

走行中の衝撃を感知するか、前方カメラの駐車監視スイッチを短く押すと、押す前の5秒、後の15秒（合計20秒）の映像をイベントフォルダに保存します。

※ 詳しくは、P84をご参照ください。

■ メモリ自動管理機能

microSDカードに継続的に走行映像を保存するため、各録画方式のフォルダごとに、古い映像ファイルから順次上書き保存します。

※ 詳しくは、P88～89をご参照ください。

■ 専用PCビューアー対応

ドライブレコーダーの映像を専用PCビューアーで再生すると、4CH映像を同時再生、各種情報の確認ができます。

※ 詳しくは、P72～81をご参照ください。

■ バッテリー上がり防止の電源遮断機能を搭載

車両のバッテリー上がりを防止するため、ドライブレコーダーの電源を遮断する装置が内蔵されています。設定された遮断電圧 / 遮断時間により駐車監視モード中、自動的にドライブレコーダーの電源がOFFになり、ドライブレコーダーによるバッテリー上がりを防止します。

※ 詳しくは、P51をご参照ください。

- ・ 駐車監視モードは車両バッテリーの電力を使用します。
- ・ バッテリーに警告が出た場合、車両のバッテリーが弱っている可能性があります。正規ディーラー / 販売店にお問合せください。

■ 電波干渉対策済

- ・ ただし後方カメラを取付した場合、一部地域、受信環境により、ラジオの受信感度が下がる場合があります。

■ LED信号対策済

■ メモリーキーパー機能

保存したファイルが上書きされることを防止します。手動で上書き防止ファイルの指定をする方法で、各映像の種類ごとに最大4つまで指定できます。

※ 詳しくは、P37をご参照ください。

■ 長時間記録モード（タイムラプス） ※ 駐車監視時のみ

1秒間に4枚の画像を撮影して動画に保存します。人や車の往来が多いところで長時間記録モードを使用することにより、通常の駐車監視に比べ、より長時間記録できます。

※ 詳しくは、P51、P86をご参照ください。

■ SDカードの寿命表示（純正SDカード使用時限定）

使用中のSDカードの寿命を案内文と色で表示します。

SDカードの使用状況を確認でき、より安全にドライブレコーダーを使用することが出来ます。

※ 詳しくはP53～54をご参照ください。

■ セキュリティLED搭載

駐車中は青色LEDが点滅して、駐車監視をアピール。

運転中はサイドカメラ・後方カメラ青色LEDが点灯し、カメラの存在を伝えます。

※ 詳しくはP14～16をご参照ください。

■ スマホアプリ対応

Wi-Fi Dongleを本体に接続すると、スマートフォンアプリから、ドライブレコーダーに接続可能です。

※ 詳しくはP55～59、P61～69をご参照ください。

■ Wi-Fi ステーションモード対応

Wi-Fi Dongleを接続し、スマートフォンアプリと家庭のWi-Fiネットワークにアクセスすると駐車モード動作中のドライブレコーダー情報を見ることができます。

※ 詳しくはP57～59をご参照ください。

■ USBメモリ接続 - ファイルコピー可能

USB外部メモリを接続し、任意のファイルを選択してコピーできます。

※ 詳しくはP36、P38をご参照ください。

■ モバイルバッテリー接続可能

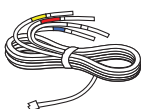
USB-DC 12V電源ケーブルとモバイルバッテリーを接続すると、ドライブレコーダー本体を分離し、保存された映像を車外でも再生して確認することができます。駐車監視モード時にモバイルバッテリーを使用することにより、車両バッテリーの消耗を抑えることができます。

製品購入後、本体及び付属品が全て揃っていることを確認してください。
万が一、本体及び付属品に破損または異常がある場合は、直ちに本製品を購入した販売店にご相談ください。

基本構成



本体



メインケーブル
(1m)



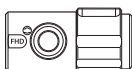
電源接続ケーブル
(2m)



SmartReco専用
64GB microSDカード



前方カメラ・
接続ケーブル (3m)



後方カメラ・
接続ケーブル (7m)



サイドカメラ (左
右)・接続ケーブル
(4m・7m)



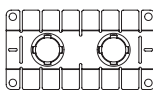
microSDカード
リーダー



結束バンド (10本)
クッションテープ
(1枚)



取扱説明書



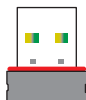
本体設置
ブラケット



本体設置
ブラケット
両面テープ



GPSモジュール
(3m)



Wi-Fi通信 Dongle



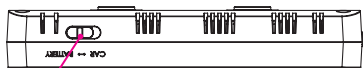
カメラ固定
両面テープ



USB-DC
12V 電源ケーブル

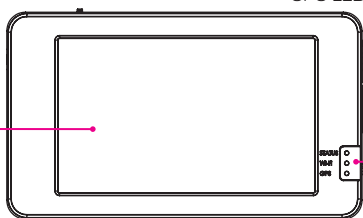
上記付属品は予告なく変更される場合があります。
(上記はイメージ画像ですので、実物と異なる場合があります。)

各部の名称及び機能 - 本体

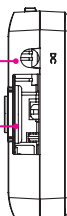


入力電源切替スイッチ
 CAR：メインケーブル
 BATTERY：DC電源端子

STATUS LED（緑色 LED）
 Wi-Fi LED（赤色 LED）
 GPS LED（青色 LED）

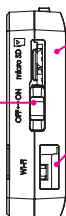


3.5インチ
 TFT
 タッチパネル



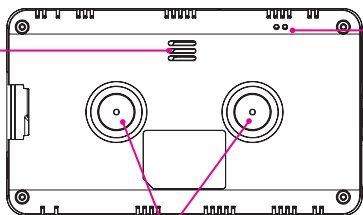
DC電源端子
 メインケーブル
 連結端子

電源ON / OFF
 スライドスイッチ



microSDカード
 スロット

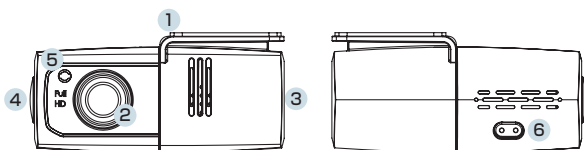
Wi-Fi dongle
 接続端子 /
 USBメモリー
 接続端子



スピーカー

マイク

本体設置ブラケット
 マグネット連結部

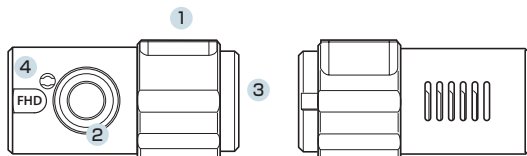


④ スイッチ

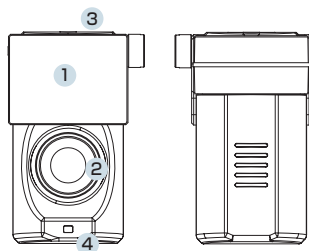
1 回押す：強制保存

長押し（約5秒）：駐車監視ON / OFF切替

名称	説明
① 接着面	フロントガラスと前方カメラの接着面
② カメラレンズ	前方カメラレンズ
③ 接続端子	本体とケーブルで接続します。
④ スイッチ	強制保存、駐車監視モードON / OFF設定切替 機能サポートスイッチ
⑤ セキュリティLED	駐車監視モード中、青色LEDが点滅します。 ※ 設定でON / OFFできます。
⑥ 状態確認LED	常時録画中の 動作状態確認用緑色LED GPS受信確認用青色LED



名称	説明
① 接着面	リアガラスと後方カメラの接着面
② カメラレンズ	後方カメラレンズ
③ 接続端子	本体とケーブルで接続します。
④ セキュリティLED	常時録画中、青色LEDが点灯します。 駐車監視モード中、青色LEDが点滅します。 ※ 設定でON / OFFできます。



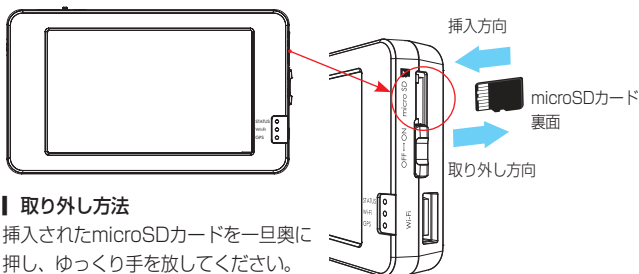
名称	説明
① 接着面	サイドガラスとサイドカメラの接着面
② カメラレンズ	サイドカメラレンズ
③ 接続端子	本体とケーブルで接続します。
④ セキュリティLED	常時録画中、青色LEDが点灯します。 駐車監視モード中、青色LEDが点灯します。 ※ 設定でON / OFFできます。

※ 必ず本体電源をOFFにしてから行ってください。

挿入方法

microSDカードを矢印の方向でカチッと音がするまで挿入してください。

※ 向きにご注意ください。



取り外し方法

挿入されたmicroSDカードを一旦奥に押し、ゆっくり手を放してください。



注意

『損傷または物的損害が発生する恐れがある』内容です。

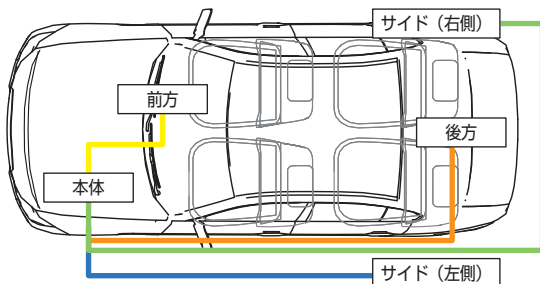
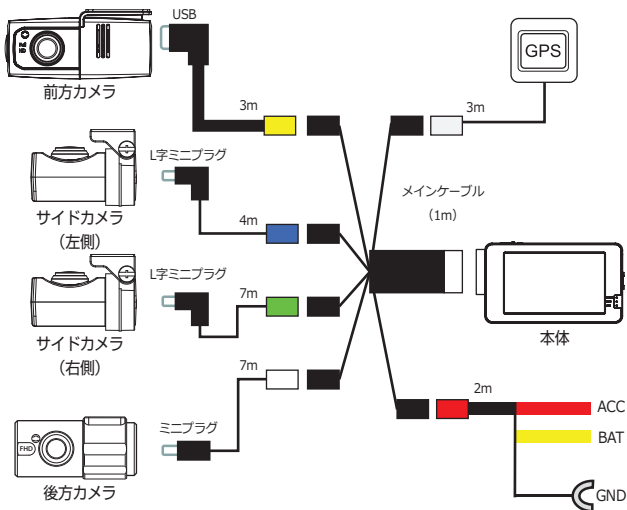
※ microSDカードを無理に挿入した場合、本体とmicroSDカードが損傷する可能性があります。損傷が発生した問題に対して弊社は一切の責任を負いません。

メモリーカード使用の際の注意事項

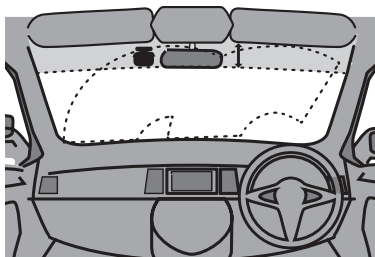
- ・メモリーカードは寿命がある消耗品ですので、6ヶ月を超えた場合、正常に録画がされない場合があります。製品寿命を経過したメモリーカードは交換してください。
- ・製品の正常動作を確認するため、週1回以上データの確認をおすすめします。
- ・メモリーカードは必ず純正品をご使用ください。純正のメモリーカード以外のカードを使い、起こった問題などに関して弊社は一切の責任を負いません。
- ・本体の電源がOFFの時にメモリーカードの取り外しを行ってください。録画時に抜き差しを行うとメモリーカード及び本体が破損する恐れがあります。
- ・重要な録画映像データはメモリーカード以外の別途パソコン・スマホにバックアップを取ることでデータの紛失を未然に防止することができます。

- 本製品を取り付ける際には、本体及び付属品が全て揃っていることを確認し、取り付け方法を確認した上で、所定の手順に従って取り付けてください。取り付けに分解整備を伴う場合や車両ハーネスから直接電源を供給する場合は必ず自動車整備認証工場または指定工場で行ってください。
- 取り付け作業は、できる限り水平な場所で、必ずバッテリーのマイナス端子を外した状態で行ってください。
- SRS（エアバッグ）等、車両の安全装置や、その他の装置に影響が出る場所に絶対に設置しないでください。
- ガラスの塗装部分及び遮光フィルム・熱線などは避けて取り付けてください。脱着時に塗装部分及び遮光フィルム・熱線などが剥がれる恐れがあります。
- 本製品を取り付けたフロントガラス・リアガラス・クォーターガラスは常にきれいにしてください。
- 設置場所の明るさや、ガラスの反射等により、映像品質が落ちる場合があります。取り付け後に撮影テストを行い、映像品質に問題が出ない場所に設置してください。
- 本製品は、運転者の視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
 - ※ ルームミラー裏側に設置することをお勧めします。「審査事務規定 第5章 5-47」により、フロントガラス上縁からガラス実長の20%以内の範囲にカメラを貼り付けることで車検に適合します。（平成26年11月現在）詳しくは、P20をご参照ください。
- ワイパーの拭き取り位置を確認して取り付けてください。

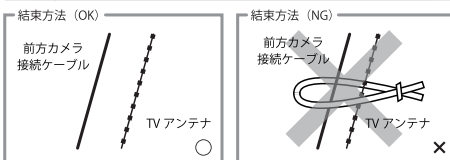
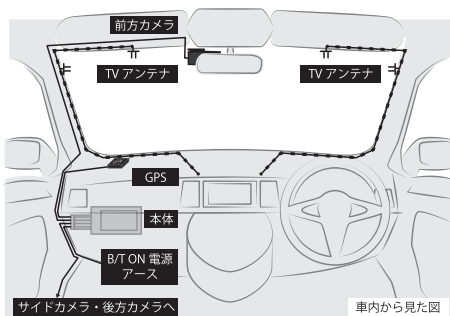
接続図



【前方カメラの取り付け位置イメージ（車内）】



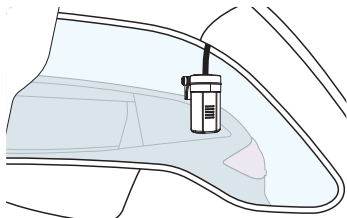
- フロントガラス全体の上部20%以内もしくは下から15センチ以内に装着します。
- 製品本体や後方カメラ・GPSモジュールは他の電波を利用した製品に影響がない場所へ取り付けてください。電波を利用した製品の例：GPS・ETC・VICS・レーダー探知機・テレビ・ラジオ・電話等。装着の場合によっては同時装着が出来ない場合もありますのでご注意ください。また、GPSは微弱な電波を受信しており、電波を遮る障害物にも影響を受けます。状況に応じて、GPSアンテナの設置場所を選択してください。
- 本製品のGPSモジュールはカーナビゲーションのGPSアンテナ（フィルムアンテナ含む）と50cm以上距離を離して取り付けてください。電波障害によりカーナビゲーションが正しく表示されない場合があります。電波障害が起きた場合は、本製品のGPSモジュールの取り付け位置を調整し、本製品の電源をOFFにして再度接続してください。
- 電波障害により、テレビが受信できなくなる場合があります。この場合、テレビの使用を中止してください。



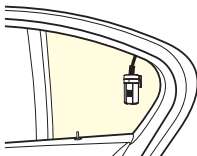
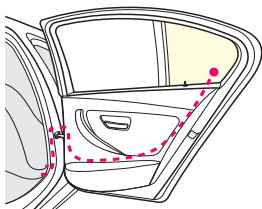
- 図の様にフロントガラスにTVアンテナが取り付けられている車輛に本製品を使用する場合、テレビの電波干渉が起きる可能性があります。走行中はテレビを見ないでください。
- 図の様に本製品の配線とTVアンテナ線はできる限り離して取り付けてください。
- 本製品とテレビ・ラジオを同時使用して発生した電波障害は、保証の対象になりません。予めご了承ください。

サイドカメラの取付

- ワゴン・SUV・ミニバン・クーペ等のリアクォーターガラスが設定されている車はリアクォーターガラスにサイドカメラを取り付けてください。

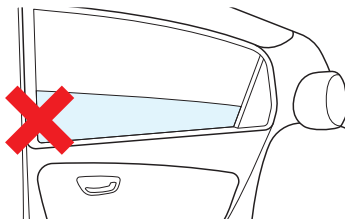


- ハッチバック・セダン等でクォーターガラスが無い車種は、リアドア内張を通して可動しないリアドアガラスの三角窓に設置してください。

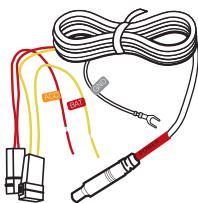


注意！

一部コンパクトカー・ハッチバック等のリアドアガラスが全て可動する車種はサイドカメラを取付できません。



- ① 電源ケーブルを車両に接続し、メインケーブルに接続します。

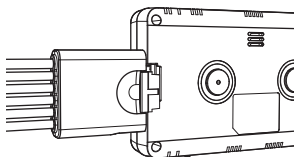


※ 電源の接続は、専門店（ディーラー、車両電装店等）で行ってください。

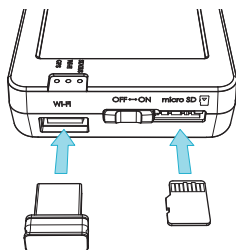
配線が間違っている場合は正常に動作しなかったり、製品が故障する可能性があります。

- 黒色：GND（アースポイント）
- 赤色：ACC（エンジンがONの時、電源が供給される箇所）
- 黄色：BAT（エンジンON / OFFに関わらず、常に電源が供給される箇所）

- ② 本体にメインケーブルを接続し、メインケーブルの各配線にカメラ、GPSモジュールを接続します。



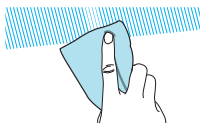
- ③ microSDカードスロットに付属のmicroSDカードを入れUSBポートにWi-Fi通信 Dongleを差した後本体電源ON / OFFスイッチをONにします。



- ④ エンジンON後、常時録画の開始を確認してください。



- ⑤ 各カメラを設置するガラスの脱脂作業を行います。



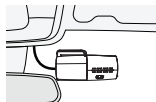
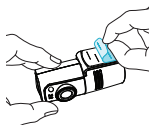
- ⑥ カメラのレンズ保護フィルムをレンズ面に触れないよう丁寧に外してください。

※レンズ保護フィルムを除去しなかった場合、録画画質が低下します。



- ⑦ 両面テープのフィルムを除去した後、前方カメラを運転者の視界に妨げにならない位置に、空気を抜きながら取り付けます。

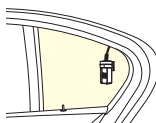
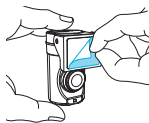
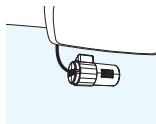
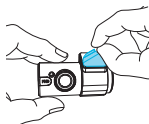
※ サンバイザーやSRS（エアバッグ等）に影響の無い場所を選んでください。



サイドカメラ、後方カメラも同様の方法で両面テープのフィルムを除去した後ガラスに接着してください。サイドカメラはリアクォーターガラスに接着してください。

後方カメラはワイパー装着車は拭き取り範囲内に設置してください。

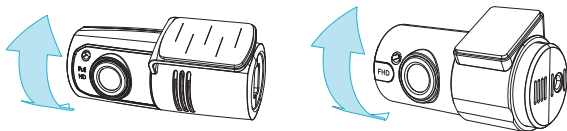
※ サンシェード装着車は干渉しない場所に設置してください。



⑧ タッチパネル画面を見ながら撮影角度を調節してください。

前方カメラ・後方カメラ

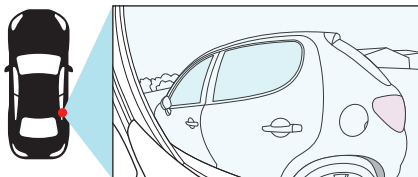
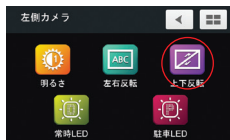
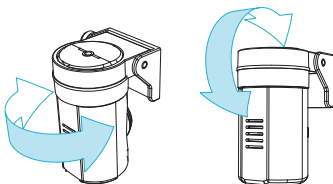
カメラ部分を回して調整してください。



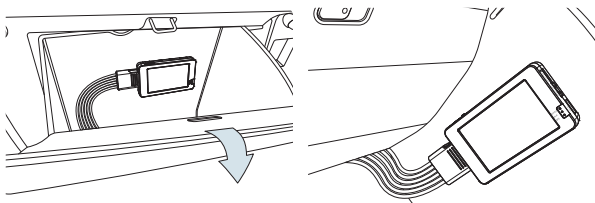
サイドカメラ

カメラ部分を回して左右の画角、ステーを回して上下の画角を調整してください。

上下が反対になる場合は、カメラ設定にて「上下反転」設定を行ってください。

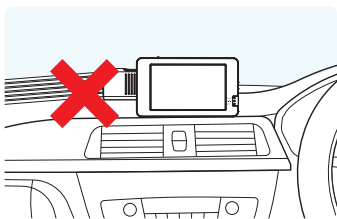


- ⑨ 本体設置ブラケットに両面テープを貼り付け、グローブボックス内、またはセンターコンソール付近等に設置し、本体を固定します。

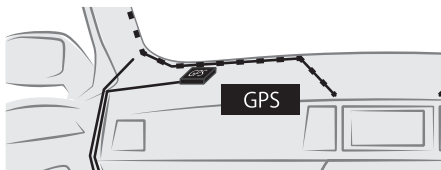


注意！

本体をダッシュボードに設置しないでください。高熱になり安定動作しません。

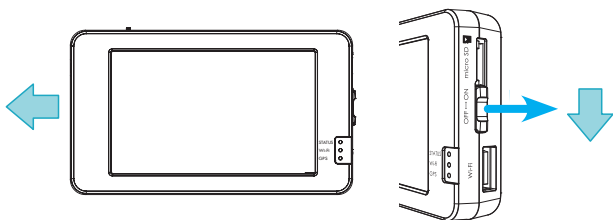


- ⑩ GPSモジュールをフロントガラス付近に設置します。

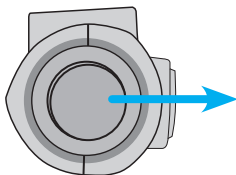


本体電源をOFFにする方法

LCD部右側面の電源スライドスイッチをOFFにしてください。本体LEDの消灯が確認できたら本体から電源ケーブルを抜いてください。



駐車監視モードをOFFにする方法



常時録画中に前方カメラ側面スイッチを長押し（5秒以上）押し、音声案内とともに画面右の駐車監視の表示が「P-OFF」になったことを確認してください。



※ 駐車監視モードを使用する場合は上記と同じスイッチを長押し（5秒以上）し、P-ONになったのを確認してください。

※ スマートフォンアプリからも駐車監視モードのON / OFF切替操作が出来ます。

操作	状況	動作	音声案内	LED表示
モード切替	駐車モード → (ACC ON)	常時録画モード動作	"常時録画モードに切り替わります"	前方カメラ / 本体緑色LED点灯
	常時モード → (ACC OFF)	駐車監視モード動作	"駐車監視モードに切り替わります"	—
前方カメラスイッチ	短く1度押す	強制イベント録画	信号音2回	前方カメラ / 本体緑色LEDすばやく点滅
	長く (約5秒以上)	駐車モードON / OFFスイッチ	"駐車モードON" or "駐車モードOFF"	—
常時録画モード (ACC ON)	常時録画	1分単位で連続録画	—	前方カメラ状態確認 / 本体LED緑色点灯
	設定メニュー画面表示時	録画中止	"録画を中止します"	—
	衝撃発生時	衝撃感知前5秒・後15秒 (合計20秒) の映像保存	ブザー音2回	前方カメラ / 本体緑色LEDすばやく点滅
	GPS信号受信時	映像下段に'G' と表示速度測定及び運行記録保存開始	"GPS信号を受信しました"	状態確認LED青色点灯

操作	状況	動作	音声案内	LED表示
駐車監視 モード (ACC OFF)	モーション感 知時	感知前の5秒、 後の15秒（合計 20秒）映像保存	—	青色LED すばやく点滅
	衝撃感知時	衝撃 感知前の5秒、 後の15秒（合計 20秒）映像保存	ブザー音2回	青色LED すばやく点滅
	遮断電圧、遮 断時間、高温 による終了時	遮断された記録 をSDカードに残 して終了	“電源を終了し ます”	—
長時間記録 モード (タイム ラプス) (ACC OFF)	長時間記録モ ード録画	2分9秒（129 秒）単位で連続 録画	—	前方 / 後方カ メラ 青色LED点滅
	衝撃感知時	感知前の33秒、 後の15秒（合計 48 秒）映像保 存	ブザー音2回	前方 / 後方カ メラ 青色LED すばやく点滅
	遮断電圧、遮 断時間、高温 による終了時	遮断された記録 をSDカードに残 して終了	“電源を終了し ます”	—

※ 駐車 / 常時に切り替え時、ドライブレコーダーの再起動が終わるまでは映像は録画されま
せん。

※ 音量及び駐車モードLED設定値によって音声案内及び駐車LEDが作動しない場合があります。

操作	状況	動作	音声案内	LED表示
その他	駐車監視モード 衝撃録画後、常 時モードに切替	通知メッセージ	“駐車監視中に 衝撃を感知しま した。”	—
	カメラの接続が 解除された場合	通知後に再起動	“カメラ状態が 変更されたた め、システム を再起動しま す。”	—
	アプリでSD容 量を変更もしく は設定を初期化 した場合	通知後に再起動	“アプリからの 設定変更を反映 するためにシス テムを再起動致 します。”	—
	ファームウェア アップデート	アップデート後 再起動	—	青色 / 緑色 LED点滅
	新規SDカー ドを挿入した 場合	フォーマット通 知メッセージ	ブザー音3回	—
	SDカードが 挿 入されていない 場合	音声案内後再起 動	“SDカードを 点検してくださ い”	—
	SDカードに異 常があった場合			

※ 駐車 / 常時に切り替え時、ドライブレコーダーの再起動が終わるまでは映像は録画されませ
ん。

※ 音量及び駐車モードLED設定値によって音声案内及び駐車LEDが作動しない場合があります。



[P-ON] P-ON：駐車監視録画使用
P-OFF：駐車監視録画使用しない

REC **EVT** REC：常時録画 / EVT：イベント録画

[GPS] GPSモジュール接続 / 未受信

[GPS] GPSモジュール接続 / 正常受信

[SmartRec] 1.00 ファームウェアのバージョン

2022-01-01 09:32:00 常時録画時刻

M 音声録音使用有無（OFF時“M”表示）

G GPS受信状態表示（ON時下段“G”表示）
（上段GPS接続 / 受信イメージ表示）

F 現在表示しているカメラの方向
F=前方 B=後方 L=左側 R=右側

- 常時録画モードで起動が完了すると常時録画画面が表示されます。
- 常時録画画面でファームウェアのバージョン、常時録画時刻、音声録音使用有無、GPS受信確認、録画時間（REC、EVT）、駐車監視モードの使用有無が確認できます。
- 常時録画画面でタッチしない状態が1分間※続くと、スクリーンセーバーに切り替わります。スクリーンセーバー状態でタッチしない状態が1分間続くと、LCD画面がOFFになります。（録画は停止しません）。



[スクリーンセーバー]

- 時刻や日付を確認する事ができます。
- GPS受信状態を確認できます。
GPS受信時：GPS ON
GPS未受信時、未接続時：GPS OFF
- GPS受信時、走行中の速度を確認する事ができます。

※ スクリーンセーバーは“1分 / 2分 / 3分”から選択できます。



- 常時録画画面でタッチパネルをタッチすると、画面上部にクイックメニューのアイコンが表示されます。
- クイックメニューのアイコンには、メニュー、音量設定、音声録音の有無、ライブ表示画面の切り替えアイコンがあります。

アイコン	説明
	メニュー画面の表示
	音量設定（消音、1段階、2段階、3段階）を切り替えます。 アイコンは、2→3→消音（アイコンに“/”）→1→2の順に切り替わります。
	音声録音の使用有無設定（録音をしないときはアイコンに“/”）
	常時録画画面切替（分割、前方、後方、左側、右側）を切り替えます。 アイコンは、4方向（分割）→前方→後方→左側→右側→4方向（分割）の順に切り替わります。



常時録画面でタッチパネルをタッチすると、上段にクイックメニューが表示されます。クイックメニューアイコンのうちメニューアイコン（歯車）をクリックすると、メニュー画面に切り替わります。

メニュー画面は表示画面、強制保存、ファイル再生、タッチパネルOFF、システム状態、設定の6つのアイコンが表示されます。

メニュー画面状態に移っても録画は停止されません。

アイコン	説明
	表示画面 常時録画面を4方向（分割） / 前方 / 後方 / 左側 / 右側で表示します。
	強制保存 常時録中に強制保存アイコンをタップすると、前5秒、後15秒の合計20秒ファイルをEventフォルダに保存します。
	ファイル再生 ファイル再生画面へ移動します。microSDカードに保存されているファイルを再生します。本ボタンをタッチすると録画を停止します。
	タッチパネル (LCD) OFF 液晶タッチパネルをON / OFFします。OFFになった液晶タッチパネルをタッチすると以前のライブ画面が表示されます。
	システム状態 ファームウェアバージョン、microSDカード使用量等、ドライブレコーダーの情報が確認できます。本ボタンをタッチすると録画を停止します。
	設定 ドライブレコーダーの設定を変更できます。本ボタンをタッチすると録画を停止します。



ファイル再生



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



ファイル再生リスト



常時リスト

ファイル再生リストに録画モード別アイコンが表示されます。録画モードごとのアイコンを押すと、その録画モードにカメラごとのアイコンが表示されます。

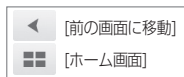
カメラ別のアイコンをタッチするとファイルリストに移動します。

2分間タッチ操作を行わない場合、常時録画に切り替わります。

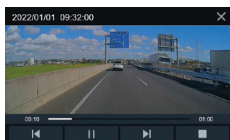
アイコン	説明	アイコン	説明
	常時録画のリスト		イベント（衝撃）録画のリスト
	駐車モーション録画のリスト		駐車イベント録画のリスト
	前方映像のファイル再生リスト		後方映像のファイル再生リスト
	左側映像のファイル再生リスト		右側映像のファイル再生リスト



前方映像



ファイル再生リスト



再生画面

ファイル再生リストに、記録された日時のファイルが並びます。ファイル名をタッチすると再生画面に選択されたファイルを再生します。

2分間タッチ操作を行わない場合、常時録画に切り替わります。

アイコン	説明	アイコン	説明
	再生 / 一時停止		一時停止
	前のファイルへ移動		次のファイルへ移動
	停止		ファイル再生リスト画面に戻ります。

アイコン	説明
	ファイル再生リストを昇順、降順に整列します。
	ファイル再生リストをページ単位に移動します。
	再生リストのページ数を表示します。 (現在のページ数 / 全体ページ数)
	USBメモリー装置が接続されると、ファイル再生リストの上段に表示されます。ファイルコピーが可能です。
	USBメモリー接続時アイコンをクリックしてファイルダウンロード有無を選択することができます。 選択したファイルの4方向分、4つのファイルをコピーします。
通常 メモリー キーパー	通常ファイル / メモリーキーパーファイル ファイル状態を表示します。タッチすると、通常のファイルかメモリーキーパーファイルに切り替わります。メモリーキーパーの選択は、ファイルの種類ごとに最大4つずつ選択 / 保管できます。

メモリーキーパーについて

大事な録画ファイルが上書き保存されることを防止するのがメモリーキーパー機能です。

メモリーキーパー機能は「ファイル再生」メニューから、ファイル再生リストの  をタッチし、 に設定すると有効になります。

大事な録画ファイルは、パソコンやスマートフォンに保存するまでメモリーキーパーで保護することをお勧めします。

録画方式の種類ごとに最大4個まで指定することができます。

■ メモリーキーパー以外のファイルは録画が続くと新しい映像に上書きされます。

	2022/01/01 09:31:00			2022/01/01 09:35:00
	2022/01/01 09:32:00			2022/01/01 20:15:00
	2022/01/01 09:33:00			2022/01/01 20:16:00
	2022/01/01 09:34:00			2022/01/01 20:17:00
	2022/01/01 09:35:00			2022/01/01 20:18:00

■ メモリーキーパーのファイルは録画が続いてもカード内に残ります。

	2022/01/01 09:31:00			2022/01/01 09:31:00
	2022/01/01 09:32:00			2022/01/01 09:33:00
	2022/01/01 09:33:00			2022/01/01 20:16:00
	2022/01/01 09:34:00			2022/01/01 20:17:00
	2022/01/01 09:35:00			2022/01/01 20:18:00

※ ファイルの保存時間はP88～89を参照ください。



前方映像



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



ファイル再生リスト

- 本体にUSBメモリを接続すると、ファイル再生リストの上段にUSBメモリ接続アイコンが表示されます。
- 再生リストでファイル左側のアイコンをタッチすると、必要なファイルをUSBメモリーにコピーできます。
- 2分間タッチ操作を行わない場合、常時録画に切り替わります。

アイコン	説明
	USBメモリーが接続されると、ファイル再生リストの上段に表示されます。USB接続状態を確認し、タッチするとUSB接続解除を選択可能です。
	タッチするとファイルをUSBメモリーにコピーできます。

※ Wi-Fi Dongleが接続されている場合は、Wi-Fi Dongleを取り外した後にUSBメモリーを接続してください。

※ ファイルコピー中は絶対にUSBメモリーを外さないでください。



システム状態



[前の画面に移動]



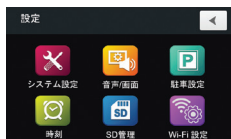
- **最終フォーマット日** : microSDカードを最後にフォーマットした日付が表示されます。
- **保存された常時ファイル、イベントファイル、駐車（モーション）ファイル、駐車イベントファイルの個数**が表示されます。
- **ファームウェアバージョン** : ドライブレコーダーのソフトウェアバージョンが表示されます。
- **SDカード使用量** : microSDカードの現在使用されている容量 / 録画可能な容量が表示されます。



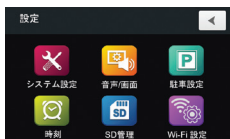
設定



[前の画面に移動]



アイコン	説明
	システム設定 衝撃センサー感度、駐車衝撃案内無効時間の設定、カメラ設定をします。各種設定の初期化も行います。
	音声 / 画面 スクリーンセーバー、タッチ補正、起動画面、画面反転、音声録音の使用有無、音量を設定をします。
	駐車設定 電源遮断設定、駐車監視モード設定、駐車監視モード保存容量を設定をします。



アイコン	説明
	時刻 時刻設定をします。 ※ GPSモジュールが接続され、GPS信号を受信すると自動的に時刻が設定されます。GPS信号を受信中は時刻設定メニューを選択できません。
	SD管理（純正SDカード使用時限定） カードの寿命、状態を表示します。microSDカードのフォーマットもここから行うことができます。
	Wi-Fi設定 Wi-Fi使用有無設定及び駐車監視モードのWi-Fi設定情報、携帯電話番号の設定情報が確認できます。



システム設定



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



※ 左画面が初期設定値です。

アイコン	説明
	常時衝撃値 常時録画モード中に衝撃を検知した時、イベント録画するための感度を設定します。（最低 / 低 / 中（初期設定） / 高 / 最高）から選択できます。 アイコンは、中→高→最高→最低→低→中の順に切り替わります。
	駐車衝撃値 駐車監視モード中に衝撃を検知した時、イベント録画するための感度を設定します。（低 / 中（初期設定） / 高）から選択できます。 アイコンは、中→高→低→中の順に切り替わります。
	駐車感度 駐車監視モード中のモーション感度を設定します。（低 / 中（初期設定） / 高）から選択できます。 アイコンは、中→高→低→中の順に切り替わります。

駐車監視モード中、本体温度が85℃以上の高温状態になった場合、製品保護のため自動的に駐車監視モードをOFFにします。



※ 左画面が初期設定値です。

アイコン	説明
	駐車衝撃案内無効時間 駐車衝撃案内無効時間を1分（初期設定）、3分、5分から選択できます。 本機能はエンジンOFF後、駐車監視モードに移行するまでの時間を設定します。 アイコンは、1→3→5→1の順に切り替わります。
	初期化 全ての設定を初期設定値に戻します。 SDカードのフォーマットも行います。
	カメラ設定 カメラごとの設定をすることができます。

駐車監視モード中、本体温度が85℃以上の高温状態になった場合、製品保護のため自動的に駐車監視モードをOFFにします。



カメラ設定



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



アイコン	説明
	前方カメラ設定 ナイトビジョン、セキュリティLED使用有無の設定ができます。
	後方カメラ設定 明るさ、左右反転、セキュリティLED（常時LED・駐車LED）の使用有無の設定ができます。
	左側カメラ設定 明るさ、左右反転、上下反転、セキュリティLED（常時LED・駐車LED）の使用有無の設定ができます。
	右側カメラ設定 明るさ、左右反転、上下反転、セキュリティLED（常時LED・駐車LED）の使用有無の設定ができます。



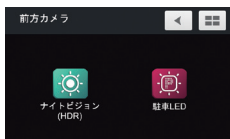
前方カメラ設定



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



※ 左画面が初期設定値です。

アイコン	説明
 	ナイトビジョン (HDR) 周辺環境を感知し、夜間の映像をより綺麗で明るく録画(保存)できます。ON (初期設定) / OFFを切り替える事ができます。初期設定はONです。
	駐車LED設定 駐車モードでセキュリティLEDの使用有無の設定ができます。初期設定はONです。



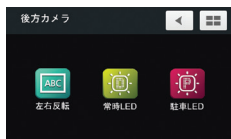
後方カメラ設定



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



※ 左画面が初期設定値です。

アイコン	説明
	左右反転 左右反転有無の設定ができます。初期設定は正像です。
	常時LED設定 常時モードでセキュリティLED使用有無の設定ができます。初期設定はONです。
	駐車LED設定 駐車モードでセキュリティLED使用有無の設定ができます。初期設定はONです。



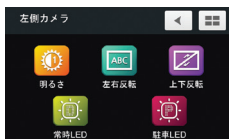
左側カメラ設定



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



※ 左画面が初期設定値です。

アイコン	説明
	明るさ 左側カメラ映像の明るさを1段階（普通、初期設定）、2段階（明るく）、3段階（もっと明るく）に設定できます。アイコンは、1→2→3→1の順に切り替わります。
	左右反転 左右反転有無の設定ができます。初期設定は正像です。
	上下反転 上下反転有無の設定ができます。初期設定は正像です。
	常時LED設定 常時モードでセキュリティLED使用有無の設定ができます。初期設定はONです。
	駐車LED設定 駐車モードでセキュリティLED使用有無の設定ができます。初期設定はONです。



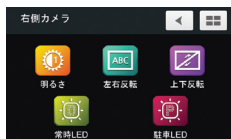
右側カメラ設定



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



※ 左画面が初期設定値です。

アイコン	説明
	明るさ 左側カメラ映像の明るさを1段階（普通、初期設定）、2段階（明るく）、3段階（もっと明るく）に設定できます。アイコンは、1→2→3→1の順に切り替わります。
	左右反転 左右反転有無の設定ができます。初期設定は正像です。
	上下反転 上下反転有無の設定ができます。初期設定は正像です。
	常時LED設定 常時モードでセキュリティLED使用有無の設定ができます。初期設定はONです。
	駐車LED設定 駐車モードでセキュリティLED使用有無の設定ができます。初期設定はONです。



音声 / 画面設定



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



※ 左画面が初期設定値です。

アイコン	説明
	スクリーンセーバー スクリーンセーバーへの切替時間を3段階（1分（初期設定） / 2分 / 3分）から選択できます。 アイコンは、1分→2分→3分→1分の順に切り替わります。
	タッチ補正 左上→右上→右下→左下→中央順番に十字の表示が現れます。順番に十字表示をタッチするとタッチパネルを補正できます。
	起動画面 起動時の開始画面を4分割画面（初期設定）、前方画面、後方画面、左側画面、右側画面から選択できます。 アイコンは、4分割画面→前方画面→後方画面→左側画面→右側画面→4分割画面の順に切り替わります。



※ 左記画面が初期設定値です。

アイコン	説明
	画面回転 本体ディスプレイ表示を上下反転するかどうかを選択できます。初期設定は正像です。
	音声録音 ON/OFF 映像と同時に音声を保存します。音声録音OFF（アイコンに“/”が入った状態）にすると音声は録音されず、映像だけを保存します。初期設定は音声録音ONです。
	音量 音声案内の音量を4段階（使用しない / 1段階 / 2段階（初期設定） / 3段階）で設定できます。 アイコンは、2→3→“/”（使用しない）→1→2の順に切り替わります。

※ 音声録音をOFFにすると常時録画画面と録画映像の下段に“M”が表示されます。



駐車設定



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



※ 左記画面が初期設定値です。

アイコン	説明
	遮断電圧 駐車監視モードの遮断電圧は“11.7V / 11.9V / 12.1V（初期設定） / 12.3V”から選択する事ができます。アイコンは、12.1V→12.3V→11.7V→11.9V→12.1Vの順に切り替わります。
	遮断時間 駐車監視モードの遮断時間は“使用しない / 3時間（初期設定） / 6時間 / 12時間 / 24時間”から選択する事ができます。アイコンは、03h→06h→12h→24h→“/”（使用しない）→03hの順に切り替わります。
	モーション感知 録画モード（初期設定） 駐車監視モードでモーション感度によりモーションが感知された場合、感知前に5秒、後15秒（合計20秒）映像を保存します。詳しくは、P85を参照してください。
	長時間モード（タイムラプス） 通常の駐車監視モード録画では、1秒に27.5フレームで保存しますが、1秒に4フレームで保存することで、長時間の録画が可能です。 長時間録画時はモーション感度と関係なく常時録画します。詳しくは、P86を参照してください。



※ 左記画面が初期設定値です。

アイコン	説明
	超低電力モード 駐車モードの切り替え後、超低電力モードに切り替わると衝撃感知モードの状態になり、衝撃が発生すると起動し、衝撃以降20秒映像を録画します。 超低電力モードに切り替わると、最小電流消費の状態で長時間待機状態に保つことが可能です。 詳しくは、P87を参照してください。 ※ 衝撃の瞬間の映像は録画されません。
	駐車容量 microSDカードの駐車モード保存容量を設定します。 “0% / 25%（初期設定） / 50%” から選択できます。駐車モードの保存容量を変更するためにはフォーマットが必要です。 アイコンは、25%→50%→0%→25%の順に切り替わります。 注：駐車容量を「0%」に設定すると駐車監視モードに移行しません。

※ モーション感知録画モード・長時間モード・超低電力モードの切替は青色のアイコンをタッチして切り替えてください。



SD管理



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



- SDカードの寿命：使用中のSDカードの寿命がメッセージと色で表示されます。（純正SDカード使用時限定）
- SDカード状態：SDカードの寿命により状態表示を「安全 / 注意 / 交換推奨」に分けて表示します。
- フォーマット：SDカードをフォーマットします。

状態表示範囲※microSDカードの寿命を100%として

- 安全 : 70%以下
- 注意 : 71%～90%
- 交換推奨 : 91%以上

安全
注意
交換推奨

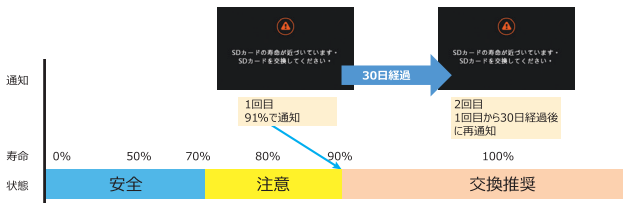
SDカード寿命通知について

SDカード寿命通知は、SDカード状態が交換推奨になった時の本体起動時に最初の通知を行います。



通知が出た時は、SDカードの寿命が近づいています。
新しい純正SDカードへの交換を検討ください。

交換しなかった場合、30日後の起動時に再度通知を行います。





Wi-Fi設定



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



※ 左記画面が初期設定値です。

アイコン	説明
	Wi-Fi使用有無設定 Wi-Fi使用に設定すると、Wi-Fi SSIDが表示されます。 スマートフォンアプリに接続し、Wi-Fiネットワークリストから当該Wi-Fi SSIDを選択してください。初期設定はONです。 (SMARTRECO_XXXXXX)



※ アクセス（Wi-Fi）設定と携帯電話設定は、駐車モードからステーションモードへ接続する際に使用される情報です。

Wi-Fi 動作説明

- ドライブレコーダーのWi-Fi動作モードはアクセスポイントモード（APモード）とステーションモード（STAモード）の2つの動作モードがあります。
- アクセスポイントモードはスマートフォンにインストールされたアプリからドライブレコーダーのWi-Fiと接続することで、ドライブレコーダー設定、リアルタイム映像閲覧、録画画像ダウンロードファームウェアのアップデートが可能です。なお、Wi-Fi接続中は、インターネットの接続は出来ません。
- ステーションモードではドライブレコーダーが自宅またはオフィスで使用中のWi-Fiルーターと接続し、駐車中に発生した情報をユーザーにPUSH通知します。ドライブレコーダーとスマートフォンはWi-Fiルーターを介し繋がっており、お使いのスマートフォンはインターネット接続されている状態です。
- 常時モードでWi-Fi設定がONの場合、ドライブレコーダーはAPモードで動作します。
- 駐車モードでWi-Fi設定がONの場合、アクセスポイントモード（APモード）で動作します。
駐車モードでWi-Fi設定情報と携帯電話設定情報が登録されており、ONになっている場合はステーションモード（STAモード）で動作します。

※ アプリはGoogle Play StoreまたはApp Storeで「スマートレコ」を検索してインストールしてください。



アクセスポイントモード(APモード)について

- 常時モードでWi-Fi設定がONになると、ドライブレコーダーはAPモードで動作します。
- 常時モードのアプリは、スマートフォンWi-FiリストからSSIDが“SMARTRECO_XXXXXX”を選択し、初期パスワード（87654321）を入力すると、ドライブレコーダーに接続することができます。（XXXXXXはドライブレコーダーのWi-Fi MACアドレスです。）
- スマートフォンにインストールしたアプリを通じてドライブレコーダーのすべてのカメラに対してリアルタイムで映像を確認する事ができます。
- SDカードに保存された映像ファイルリストを確認し、必要なファイルをダウンロードしたり、すぐに再生したりする事ができます。
- ファームウェアのアップデートも可能です。

ステーションモード(STAモード)について

- Wi-Fi設定ONになった状態で駐車モードに切り替えると、常時モードでAPモードで動作していたドライブレコーダーがSTAモードに切り替わります。
 - 駐車モードで動作中にドライブレコーダーから通知されたメッセージをスマートフォンにインストールされたアプリで確認できます。
 - ドライブレコーダーから通知されるメッセージは、駐車モードへの切替通知、駐車イベント発生通知、電源遮断通知（遮断電圧、遮断時間、高温遮断）があります。
- ※ ただしSTAモードの動作は駐車モードWi-Fi設定情報と携帯番号設定情報が正常に登録されている必要があります。
- ※ アプリはGoogle Play StoreまたはApp Storeで「スマートレコ」を検索してインストールしてください。
- ※ ドライブレコーダーにWi-Fiドングル接続時、使用可能。



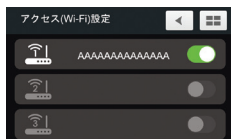
駐車モードWi-Fi設定



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



- ステーションモードを使用するには、常時モードの状態でスマートフォンにインストールされたアプリからアクセスポイントモード（APモード）に接続し、駐車モードWi-Fi設定へお客様のルーター情報及び携帯電話情報(P59 参照)を登録する必要があります。
- 駐車モードWi-Fi設定にはアプリで登録した最大3つのルーターSSID情報が表示されます。
- ドライブレコーダーは接続されるまで、Wi-Fi設定リストの順番に登録されたルーターへ接続を試みます。
- アプリで駐車モードWi-Fi設定が未登録だった場合、また、SSIDとパスワードに間違いがあった場合にはステーションモードに接続できません。大文字・小文字等、SSIDとパスワードの入力にご注意ください。
- 駐車モードを切り替える際にステーションモードに接続したいルーターSSIDを選択または解除する事ができます。

※ ルーターSSID情報登録・削除は、アプリでのみ可能です。
ドライブレコーダーでは使用有無の選択のみ可能です。



携帯電話設定情報



[前の画面に移動]



[ホーム画面]



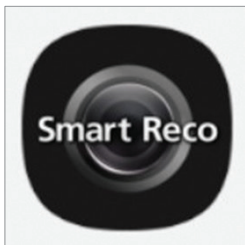
- ステーションモードを使用するには、常時モードの状態ですmartフォンにインストールされたアプリからアクセスポイントモード（APモード）に接続し、駐車モードWi-Fi設定へお客様のルーター情報（P58参照）及び携帯電話情報を登録する必要があります。
- 駐車監視モードで発生した通知（駐車モード切替、駐車イベント、電源遮断）情報をアプリをインストールし携帯電話情報を登録した受信者に送信します。
- 携帯電話の設定情報には、アプリで登録した最大3つの携帯電話番号の情報が表示されます。
- 通知を受けたい携帯電話を区別するために、それぞれのスマートフォンにインストールされたアプリから入力します。
- 駐車情報通知の受信有無に応じて携帯電話番号の設定項目を選択または解除することができます。
- スマートフォンにインストールしたアプリで携帯電話番号設定情報を登録しないと駐車モードからステーションモードに接続できないため、ご注意ください。
- アプリで登録した携帯電話番号（1,2,3）はアプリを再インストールすると、登録された携帯電話番号を削除して再登録しなければなりません。登録しないと、駐車監視モード時にステーションモードではなくAPモードで動作します。

※ 受信者の携帯電話番号登録・削除は、アプリでのみ可能です。

- 超低電力モードとは、駐車モードに移行した際にドライブレコーダーが電力消費を抑えるためにスリープの状態でご待機し、衝撃が発生した場合のみスリープ状態から立ち上がり映像を録画するモードの事です。
- 駐車監視モードで超低電力モード使用時、モーション感知録画、長時間モード録画に比べて、車両バッテリーの消耗を最小限にするためバッテリー保護に最適化されたモードです。
- 超低電力モードでは、衝撃検知後約1.5秒後に録画を開始しその後20秒間映像を録画します。
衝撃前から衝撃の瞬間映像は録画されません。
※ 衝撃の瞬間映像が必要な場合には超低電力モードを使用しないでください。
- スリープ状態から立ち上がり20秒間の駐車衝撃録画が終わった後、続いて20秒間駐車録画を行い、スリープ状態に切り替わります。
- 超低電力モードでは、音声録音はできません。
- 超低電力モードではWi-FiはOffになります。
スマートフォンとの接続はできません。

- ※ スリープ状態から立ち上がり録画した映像の初期の数フレームは映像がおかしく見えることがあります。これは衝撃直後の映像を最大限確保するためにカメラが初期化中の映像まで意図的に録画するためであり、製品の欠陥ではありません。
- ※ 超低電力モードに設定した場合、衝撃が起きた時点の映像は記録されませんのでご注意ください。

※ 画像はAndroid版です。



1. お手持ちのスマートフォンにスマートレコアプリをインストールしてください。

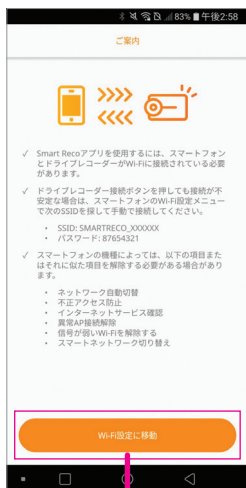


アプリはGoogle Play StoreまたはApp Storeで「スマートレコ」を検索してインストールしてください。



2. アプリ起動後、「ドライブレコーダー接続」をタッチしてください。

スマートフォンアプリ設定方法



3. スマートレコとスマートフォンを無線LANで接続します。

スマートフォンのWi-FiリストからSSID “SMARTRECO_XXXXXX” を選択し、初期パスワード（87654321）を入力することで、ドライブレコーダーに接続することができます。

※ スマートフォンの無線LAN接続方法については、スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。



スマートフォンアプリ設定方法



4. 無線LAN接続後、スマートレコアプリ>ドライブレコーダー接続をタッチします。

接続が完了すると、中央にスマートレコの情報が表示されます。



スマートフォンアプリ ホーム画面



① Ver.情報

現在のドライブレコーダー本体のバージョンを確認できます。

② ドライブレコーダー設定

ドライブレコーダー本体の各種設定変更ができます。

③ ドライブレコーダー映像

S Dカード内に記録された映像と、ドライブレコーダーで現在録画している映像を確認することができます。

④ システムログ

ドライブレコーダーの動作記録を確認できます。

⑤ ストレージ

スマートフォンに保存した映像が確認できます。

⑥ ご案内

無線LANに繋がりにくい場合はこちらをご参照ください。

⑦ サポート

サポート情報が記載されております。

⑧ アプリ設定

ドライブレコーダーのファームウェアのダウンロードやスマートフォンのストレージの空き容量の確認 / 削除ができます。

スマートフォンアプリ SDカード内映像再生



1. ドライブレコーダー映像ボタンをタッチします。



2. SDカード内映像をタッチします。

スマートフォンアプリ SDカード内映像再生

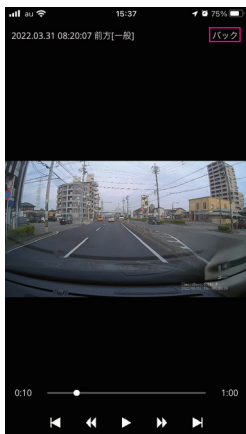


3. リストから再生したい映像をタッチします。



4. 映像再生をタッチします。

スマートフォンアプリ SDカード内映像再生



5. タッチした映像が再生できます。
スマートフォンを回転すれば全画面で再生できます。

リスト画面に戻る場合は、「バック」ボタンを押してください。



スマートフォンアプリ SDカード内映像保存方法



1. 映像をスマートフォンに保存する場合は、映像リストから保存したい映像をタッチし、ダウンロードをタッチします。



2. ダウンロード開始後、「ストレージに保存されました。」と表示されればスマートフォンへの保存が完了します。



スマートフォンアプリ SDカード内映像保存方法



3. ダウンロードした映像はアプリ内「ストレージ」から再生できます。

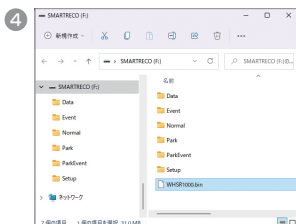
保存した映像は再生以外にも他のアプリへ共有、カット編集、削除することが可能です。



※ スマートフォンアプリ操作方法の詳細はスマートレコwebサイトを参照ください。
<https://www.smartreco.jp/>

[アップデート方法（インターネットに接続された環境が必要です）]

1. 専用ビューアのメイン画面でプログラム情報ボタン  をクリックすると、専用ビューアとファームウェアバージョンの確認及びアップデートが可能です。（ファームウェアバージョン情報が保存されたmicroSDカードを挿入すると、①のようなファームウェア情報が表示されます）
2. microSDカードが挿入されたドライブを確認し、アップデートボタンをクリックしてください。
最新のファームウェアファイルがmicroSDカードにダウンロードされます。
3. ダウンロードが完了したら、microSDカードにアップデートファイル（WHSR1000.bin）が表示されます。



4. ドライブレコーダーの電源をOFFした後、ファームウェアファイルが保存されているmicroSDカードを挿入します。
5. ドライブレコーダーの電源をONにするとアップデートが開始されます。アップデートが完了すると自動的に再起動します。

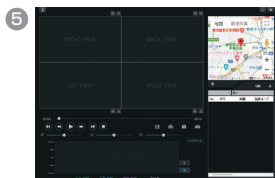
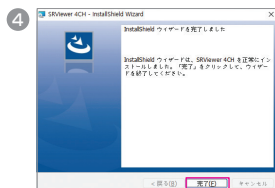
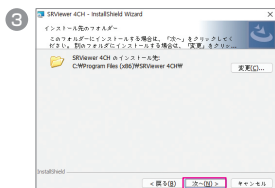
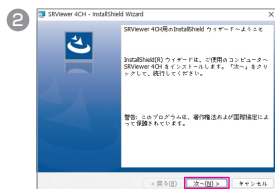
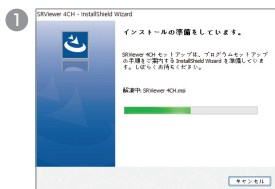


6. ドライブレコーダーが再起動したら録画を開始します。

- ※ アップデート中は絶対に電源を切ったりmicroSDカードを抜かないでください。
- ※ アップデートの内容により、アップデート後にmicroSDカードのフォーマットが必要な場合もあります。
- ※ アップデート中は録画を中止します。
- ※ アップデートに失敗した場合は、アップデートファイル (WHSR1000.bin) を再度ダウンロードしてください。

専用ビューアーをインストールする

1. microSDカードに保存された専用ビューアインストールファイル（SRViewer4CH_1.0.0.exe）を実行し、次の手順に従ってクリックすればインストールが完了します。
2. インストールが完了したら、デスクトップに専用ビューアーのショートカットアイコンが表示されます。以降専用ビューアーを起動する場合は、ショートカットアイコンをダブルクリックして起動します。



[専用ビューア動作環境]

- OS : Windows 8.1, 10, 11
- CPU・メモリー : Intel Core i5 以上 / クアッドコア 以上 / 8GB RAM 以上
- ウェブブラウザ : Microsoft Edge 86.0.616.0 以上
- Microsoft Edge Webview2 Runtime 86.0.616.0 以上
- ディスプレイの解像度 1366X768 以上
- タブレットには対応していません。

※ ウィンドウサイズは 1020X730 です。

※ MacOSXには対応していません。

※ 専用ビューアのインストールはインターネットに接続した環境で行ってください。



- ① ビューアー / ファームウェアのバージョン情報及び自動アップデート
- ② 前方 / 後方 / 左側 / 右側の映像分割画面
- ③ 映像操作ボタン
- ④ 加速度 / 速度グラフ
- ⑤ 画面拡大 / 縮小、全体画面
- ⑥ 音量、明るさ、再生速度
- ⑦ 運行記録の再生
- ⑧ ハードウェアアクセラレーション ON / OFF
- ⑨ Gセンサー衝撃値 / 速度
- ⑩ 地図 ON / OFF
- ⑪ ファイルを開く、並び替え
- ⑫ 再生リスト

- － 速度、地図情報はGPSモジュールが正常に電波を受信していない場合は表示されません。
- － 音声OFF（消音）で録画した映像は（M）で、GPS受信は（G）が前方映像の右下に表示されます。

**プログラム情報**

専用ビューアーとファームウェアのバージョン確認及びアップデートができます。

※ ファームウェアのバージョン情報を確認するためにはmicroSDカードをパソコンへ接続する必要があります。

**画面拡大 / 縮小**

前方 / 後方 / 左側 / 右側の映像を分割画面で拡大/縮小して表示します。マウスのスクロールで拡大することができます。

**全画面表示**

前方 / 後方 / 左側 / 右側の映像を全画面で表示します。

**メイン画面に復帰**

全画面表示中、ビューアメイン画面に戻ります。

**前のファイル / 次のファイルを再生**

映像を再生中に、前のファイル / 次のファイルを再生します。

**再生 / 一時停止**

再生リストから選択したファイルを再生したり、再生中のファイルを一時停止します。

**前フレーム / 次フレームへ移動**

映像を再生中、このボタンをクリックすると一時停止し映像を1秒単位でコマ送りします。

**ファイルコピー**

現在再生中もしくは選択中の映像の、4方向分、4つのファイルをパソコンにコピーします。

(保存先: C:\¥BlackBox¥Backup)



画面印刷

再生中の画像を印刷します。「前後」と「左右」の2ページで印刷します。



スクリーンキャプチャー

ビューアーの前方・後方・左側・右側の4つの再生画面をPNGファイルでパソコンに保存します。
(保存先：C:\BlackBox\CAPTURE)



運行記録の再生

運行記録を表示します。

※ GPSモジュールが正常に電波を受信していない場合は表示されません。



再生オプション

映像の音量、明るさ、再生速度を調整することができます。



速度 / 加速度の切り替え

速度と加速度グラフを表示します。

※ GPSモジュールが正常に電波を受信していない場合、速度グラフが表示されません。



ハードウェアアクセラレーションON / OFF

グラフィックカードのハードウェアアクセラレーションを使用するかどうかを設定できます。ハードウェアアクセラレーションに対応していないコンピュータではOFF状態で円滑な映像再生が可能です。(初期設定：ON)

左右: 0.00 上下: 0.00 前後: 0.00 0 km/h

衝撃、速度情報

衝撃値、速度を表示します。GPSモジュールが正常に電波を受信していない場合、速度は表示されません。



マップ表示 / 非表示

再生中の映像の運行位置情報を地図に表示します。

GPSモジュールが正常に電波を受信していない場合、運行位置情報が表示されません。



ファイルを開く

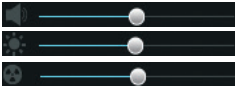
映像ファイルを選択します。ShiftまたはCtrlキーを押した状態で、ファイルをクリックすると、複数のファイルを同時に選択できます。

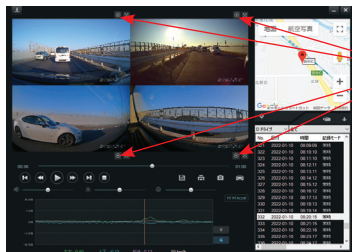


昇順 / 降順に切替

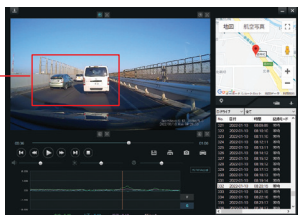
再生リストファイルの並び替えを変更することができます。



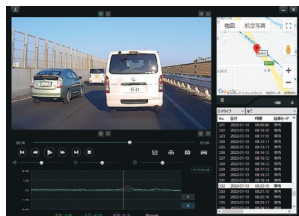
アイコン	説明
① 	画面最小化 全画面表示をプログラムを終了せず隠すことができます。
② 	メイン画面に復帰 全画面表示からビューアーメイン画面に戻ります。
③ 	ビューアー終了 ビューアーを終了します。
④ 	画面切替 前方 / 後方 / 左側 / 右側の画面を切り替えます。
⑤ 	再生オプション 映像の音量、明るさ、再生速度を調整することができます。



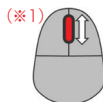
画面拡大



[メイン画面での前方映像の拡大]



[前方映像部分の拡大]



- 再生中の前方 / 後方 / 左側 / 右側の映像をクリックするか、画面拡大ボタンをクリックした後、マウスのスクロール (※1) を使用して映像のサイズを調節できます。
- 拡大した状態で画面をドラッグして位置を移動できます。
- 画面拡大状態で画面をダブルクリックすると、分割画面状態に戻ります。

■ 運行記録は走行時に10秒ごとに記録し、microSDカードのDataフォルダにDATファイル形式で保存されます。

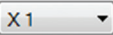
1つのファイルには最大1週間の運行記録が保存され、日付ごとの運行記録の一覧が表示されます。（但し、GPSモジュールが正常に電波を受信する場合に限ります。）



1. microSDカードをパソコンに接続し、ビューアから  ボタンをクリックすると、運行記録モード（上図）が表示されます。
2. 左側の  開くボタンをクリックすると、microSDカードのDataフォルダにあるDATファイルの一覧が閲覧でき、一覧の中のファイルを選択すると日付別の運行記録の一覧が閲覧できます。
3. リストから目的のファイルをクリックすると、右側に移動経路が表示されます。

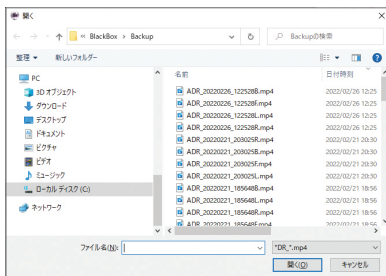
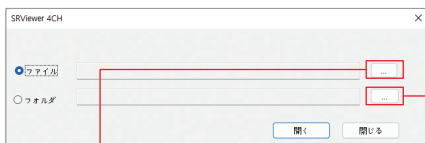
※ DATファイルは最大30個（30週間分）まで保存することができます。

◆ 下記の表は運行記録画面のアイコンについての説明です。

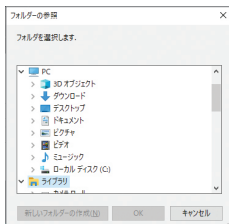
	アイコン	説明
①		microSDカードのDataフォルダ内に保存されている運行記録ファイル（.DAT）を開きます。
②		運行履歴画面をキャプチャし、jpgファイルとして保存します。 （保存先：C:¥BlackBox¥CAPTURE）
③		運行記録画面を印刷します。
④		移動経路を再生中に走行日付と時刻を表示します。
⑤		リストから選択した項目を移動経路順に再生します。
⑥		移動経路再生中、移動した経路にマーカを表示します。
⑦		移動経路再生時、0.5、1、1.5、2倍速で再生します。
⑧		運行記録画面を終了します。

ビューアーはmicroSDカードやパソコンに保存されたドライブレコーダーの映像を選択して、再生できます。

1. ビューアーのメイン画面で  ボタンをクリックします。
2. ファイルまたはフォルダでの読み込み方式を選択し、いずれかのファイルまたはフォルダ選択後、“開く” ボタンをクリックします。
3. 選択された映像が再生リストに表示されます。



[ファイル選択画面]



[フォルダ選択画面]

- Normalフォルダ：常時モードで60秒単位の映像を連続保存します。
- Eventフォルダ：常時モード中に発生したイベント（強制保存またはイベント録画）発生5秒前から15秒（計20秒）の映像を保存します。
- Parkフォルダ：駐車監視モードで映像を保存します。
 - 1) 通常（モーション検知使用）：モーション検知の前5秒、後15秒（合計20秒）の映像を保存します。
 - 2) 長時間記録モード使用：1秒間に4枚の静止画を撮影し、2分9秒の様子を20秒に圧縮して連続保存します。
 - 3) 超低電力モード録画：衝撃検知録画終了後、20秒間映像を保存します。
- ParkEventフォルダ：駐車監視モードでイベント（衝撃）による映像を保存します。
 - 1) 通常モード（モーション感知使用）：衝撃を感知する前に5秒、後に15秒（計20秒）映像を保存します。
 - 2) 長時間記録モード使用：衝撃を感知する前に33秒（4fps）、その後15秒（27.5fps）（計48秒）の映像を保存します。
 - 3) 超低電力モード録画：衝撃を検知後起動し、20秒間映像を保存します。
- Setupフォルダ：ドライブレコーダーの環境設定、電源遮断記録（CUT OFF.txt）が保存されるフォルダです。
- Dataフォルダ：運行記録データを保存します。
- 映像ファイル名の例

MDR_20220101_093100F.mp4

映像種類 年/月/日 時/分/秒 チャンネル区分

■ チャンネル区分

F：前方映像
B：後方映像
L：左側映像
R：右側映像

※ 上記映像ファイル名の場合、2022年1月1日9時31分00秒の前方ファイルになります。

映像の種類

MDR	走行映像	MLK	メモリーキーパーした走行映像
EDR	走行イベント / 強制保存映像	ELK	メモリーキーパーしたイベント映像
PDR	駐車映像（モーション検知、タイムラプス）	PLK	メモリーキーパーした駐車映像
ADR	駐車イベント映像	ALK	メモリーキーパーした駐車イベント映像

電源遮断記録は、駐車監視モードが遮断された日時をテキストファイル（CUTOFF.txt）に記録します。

例） - 2021/12/1 9:31 : 00 CUTOFF_METHOD_TIME, TIME_06H

- 駐車監視モードの設定時間（6時間）を過ぎたため、停止。

- 2021/12/1 9:31 : 00 CUTOFF_METHOD_V, 11.9V

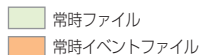
電圧が遮断設定値まで下がったため、停止。

- 2021/12/1 9:31 : 00 CUTOFF_METHOD_T, 85T

- 本体温度が85℃に達したため、停止

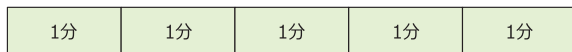
<注意>

1. Setupフォルダを除いた他のフォルダの内容を変更（ファイル削除、生成など）した場合、起動時に本体からフォーマットをお勧めする案内メッセージが出ます。フォーマット後、正常に作動します。（映像ファイルをパソコンへコピーをするのは問題ありません。）
2. パソコンでSDカードをフォーマットした場合、本体でもう一度フォーマットした後、正常に作動します。



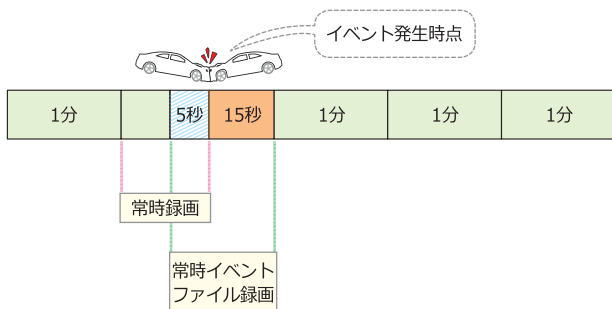
■ 常時録画ファイル

- 60秒単位で映像を連続保存します。



■ 常時イベントファイル

- 走行モード中に発生したイベント（強制保存衝撃）発生5秒前から15秒（計20秒）の映像を保存します。
- 常時ファイルは、イベント発生前までの録画後の映像は、イベントファイルに保存されます。



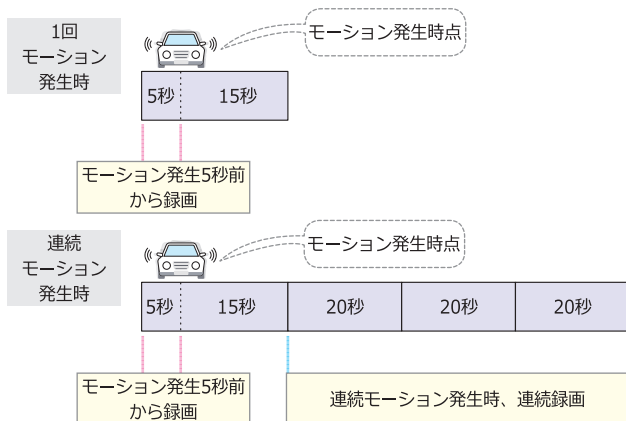
※ イベント発生時、常時ファイルとイベントファイルの映像が重なる時点（イベント発生前5秒）は、常時ファイル、イベントファイルともに保存されます。

 駐車ファイル

 駐車イベントファイル

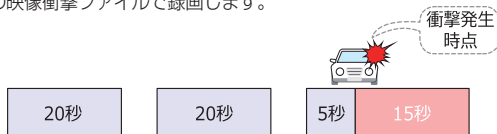
■ 駐車モーションファイル

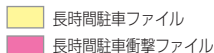
- 駐車モード中にモーションが発生した場合、モーション発生5秒前から発生後15秒（合計20秒）の映像を保存します。
- 連続モーションが発生した場合、次の駐車モーションファイルは5秒前の映像なしで映像を録画し続けます。



■ 駐車イベントファイル

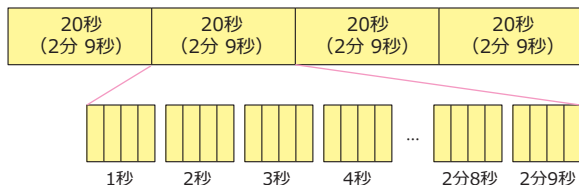
- 駐車録画中に衝撃が発生した場合、衝撃発生5秒前から発生後15秒（合計20秒）の映像衝撃ファイルで録画します。





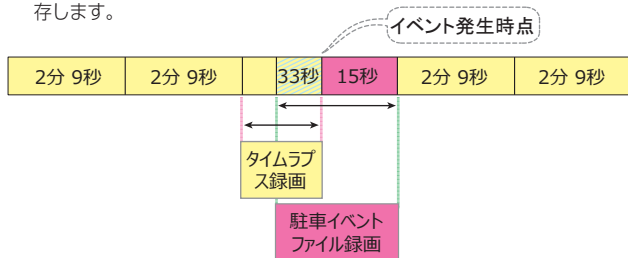
■ 長時間駐車ファイル

- 1秒間に4枚の静止画を撮影し、2分9秒の様子を20秒に圧縮して連続保存します。



■ 長時間駐車衝撃ファイル

- 長時間駐車ファイルの連続保存中に衝撃が発生すると、衝撃発生前の33秒(4fps)からその後15秒(27.5fps)まで(合計48秒)の映像を保存します。



- ※ 衝撃発生時、長時間駐車ファイルと駐車衝撃ファイルの映像が重なる時点(衝撃発生前33秒)は、長時間駐車ファイル、長時間駐車衝撃ファイルにすべて保存されます。

※ 長時間記録モードに設定した場合、状況により事故の瞬間などが記録されない場合があります。

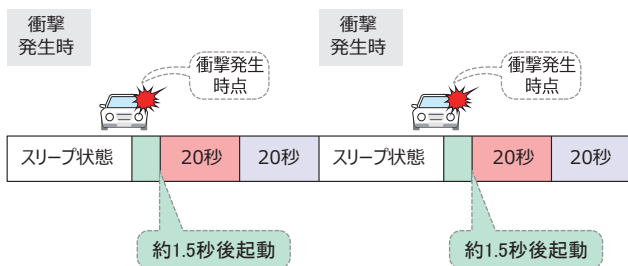
※ 長時間記録モードでは映像に音声は録音されません。

超低電力駐車ファイル

■ 超低電力モード駐車イベントファイル

超低電力駐車イベントファイル

- 超低電力モード中に衝撃が発生した場合、衝撃発生後起動時（約1.5秒）から20秒の映像を保存し、続いて駐車ファイル20秒の映像を保存します。



※ 超低電力モード駐車イベントファイル / 駐車ファイルを保存した後、次の衝撃が発生するまでスリープ状態になります。スリープ状態では録画は行いません。

※ 超低電力モードに設定した場合、衝撃が起きた時点の映像は記録されませんのでご注意ください。

※ 超低電力モードでは映像に音声は録音されません。

- microSDカードの全容量からNormalフォルダ、Eventフォルダ、Parkフォルダ、ParkEventフォルダが各タイプ別に設定された容量だけ、割り当てられて保存します。microSDカードの容量によってファイル数は異なります。

駐車使用量25%設定時

SD 容量	常時 (60%)		走行イベント (15%)		駐車 (20%)		駐車イベント (5%)	
	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)
32GB	212	53	152	12	200	16	48	4
64GB	428	107	304	25	404	33	100	8
128GB	848	212	600	50	800	66	200	16

駐車使用量50%設定時

SD 容量	常時 (40%)		走行イベント (10%)		駐車 (40%)		駐車イベント (10%)	
	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)
32GB	140	35	100	8	404	33	100	8
64GB	274	71	200	16	808	67	200	16
128GB	564	141	400	33	1604	133	400	32

駐車使用量0%設定時

SD 容量	常時 (85%)		走行イベント (15%)		駐車 (0%)		駐車イベント (0%)	
	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)
32GB	304	76	152	12	0	0	0	0
64GB	608	152	304	25	0	0	0	0
128GB	1204	301	600	50	0	0	0	0

- ＜注意＞
1. フォルダ別に割り当てられた保存比率を超過すると、古いファイルから削除し、新しい録画ファイルを作成します。
 2. 安定的にフォーマットフリーシステムを運営するために一部のエリアがシステムに割り当てられます。

駐車使用量25%設定時（長時間記録モード使用）

SD 容量	常時（60%）		走行イベント（15%）		駐車（20%）		駐車イベント（5%）	
	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）
32GB	212	53	152	12	200	110	48	9
64GB	428	107	304	25	404	222	100	20
128GB	848	212	600	50	800	440	200	40

駐車使用量50%設定時（長時間記録モード使用）

SD 容量	常時（40%）		走行イベント（10%）		駐車（40%）		駐車イベント（10%）	
	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）
32GB	140	35	100	8	404	222	100	20
64GB	284	71	200	16	808	444	200	40
128GB	564	141	400	33	1604	882	400	80

・ファイルサイズ（4CH）

- Normal：最大 330MB / 1分（前方 90MB / 後方、左側、右側 80MB）
- Event：最大 120MB / 20秒（前方、後方、左側、右側 30MB）
- Park：最大 120MB / 20秒 / 129秒（前方、後方、左側、右側 30MB）
- ParkEvent：最大 120MB / 20秒 / 48秒（前方、後方、左側、右側 30MB）

製品名	WHSR-1040
消費電力	(GPS 接続時) 4チャンネル 接続時: Max 9.3W 超低電力モード 待機時: Max 0.05W
前方カメラ	1920×1080[画角]: 130度[斜め] / 105度[水平] / 54度[垂直] HDR搭載 / STARVIS搭載 / ケーブル長さ: 3m
後方カメラ	1920×1080[画角]: 135度[斜め] / 112度[水平] / 60度[垂直] ケーブル長さ: 7m
サイドカメラ	1920×1080[画角]: 168度[斜め] / 138度[水平] / 70度[垂直] STARVIS搭載 / ケーブル長さ: サイド (短) 4m / サイド (長) 7m
映像フレーム	前後方 最大 27.5fps / 長時間モード (タイムラプス) 使用時、前 後方 4fps
オーディオ	[マイク] 内蔵マイク、PCM保存 [スピーカー] 音声案内
ビデオ	H.264 (ファイル拡張子: mp4)
Gセンサー	3軸加速度センサー
タッチパネル	3.5インチ TFT タッチスクリーン、480×320 ドット
セキュリティ LED	前方 / 後方 / サイドカメラ 青色LED ON / OFF可能
動作状態LED	本体: 常時録画モード動作時 緑色LED ON / 駐車監視録画モード 動作時緑色LED OFF Wi-Fi接続時赤色LED ON / GPS受信時青色LED ON 前方カメラ: 緑色LED (常時録画モード状態) / 青色LED (GPS状 態)
GPS	外付GPSモジュール (みちびき対応)
動作電圧	DC 12V / 24V
録画方式	常時録画 / イベント録画 / 強制録画 / 駐車モーション録画 / 駐車 イベント録画 / 長時間記録モード (タイムラプス) 録画 / 超低電力 モード録画

保存媒体	純正micro SD Card Class10（最大128GBまで）
外形寸法	本体：104.4 X 60.8 X 17.5mm
	前方カメラ：74.7 X 34.2 X 31.8mm
	後方カメラ：59 X 30 X 28.2mm
	サイドカメラ：51 X 28.8 X 36.1mm
重量	本体：93g（microSDカード含む） / 前方カメラ：35g / 後方カメラ：25g / サイドカメラ：25g
動作温度	-20℃ ～ 70℃
保管温度	-40℃ ～ 85℃
電源遮断機能	駐車監視録画モード設定（時間・電圧）により遮断
	時間設定：3時間 / 6時間 / 12時間 / 24時間 / 使用しない（初期設定：3時間）
	電圧：11.7V / 11.9V / 12.1V / 12.3V（初期設定：12.1V）
ビューア対応OS	Windows 8.1、10、11
アプリ対応OS	iOS 13以上
	AndroidOS 10以上

※ 本製品及び製品仕様は、品質向上のため予告なく変更または修正されることがあります。

Q. 本体が再起動を繰り返します。

- A.** microSDカードに異常があると再起動を繰り返したり、フリーズする恐れがあります。パソコンでmicroSDカードをフォーマットしてください。フォーマット後も症状が改善しない場合はmicroSDカードの寿命が考えられます。microSDカードの買い替えを検討してください。

※ フォーマットを行う前にはお車に身に覚えのない傷や凹みがないかをご確認ください。傷が有った場合はフォーマットせず、専用ビューアーを使用して駐車録画映像をご確認ください。
駐車中にいたずらや当て逃げに遭った可能性があります。

Q. 本体のランプがつかなくなりました。

- A.** 電源を1度OFFにした後、ONしてください。

症状が改善できない場合、microSDカードを抜いた状態でエンジンをONしてください。カード未挿入警告が出ない場合電源配線の異常が考えられます。取付店にご相談ください。カード未挿入警告が出た場合microSDカードの異常が考えられます。パソコンでmicroSDカードをフォーマットしてください。フォーマット後も症状が改善しない場合は、microSDカードの異常が考えられます。販売店もしくはTCLインフォメーションセンターにご相談ください。

Q. パソコンのビューアープログラムが消えてしまいました。

- A.** 下記のダウンロードページよりダウンロードする事ができます。

ダウンロードページ

URL:<https://www.whitehouse.co.jp/smartreco/download/>

ダウンロードパスワード：**smareco**

Q. ビューアーをインストールしましたが、起動しません。

A. パソコンの仕様などを確認する必要があります。弊社のホームページに詳しい対処方法が掲載されています。

下記のページをご確認ください。

URL:<https://www.whitehouse.co.jp/smartreco/faq/>

Q. イベントファイルは上書きされませんか？

A. イベントファイルも保存できる最大容量が決まっています。その容量を超えると一番古いファイルから上書きされますので、上書きしてはいけないファイルについてはファイルキーパーで保護するか、パソコンやスマートフォン等に保存して下さい。

Q. 駐車監視モードが作動しない（エンジン停止時に“駐車監視スイッチをONにしてください” “駐車モードのSD割当容量が0%に設定されてるため、切り替えできません。”）音声案内が出る）

A. 設定を確認ください。以下の設定の場合、駐車監視モードは作動しません。

1. 駐車監視モードの設定が「P-OFF」になっている。

【常時録画画面で確認できます】

2. 駐車監視モード使用容量が0%になっている。

【環境設定で確認できます】

Q. 駐車監視モードが作動しない（エンジン停止後、前方カメラ前面青色LEDが点滅するが設定時間が経過する前に消えてしまう）

A. 以下の2点をご確認ください。

1. バッテリー電圧の低下のため、電源遮断が発生した可能性があります。

Setupフォルダ内のcutoff.txtを確認ください。お車のバッテリー電圧も確認してください。

2. 本体温度が高温になり遮断された可能性があります。

Setupフォルダ内のcutoff.txtを確認ください。

※ CUTOFF.txtについてはP82 / P83を参照してください。

Q. タッチパネル画面が表示されない

A. 画面をタッチすれば表示が復帰します。

※ 駐車監視モード中はタッチパネルは消灯します。

Q. トラック・バス等の24V電源の車両でも使用できますか？

A. 24V電源でも使用可能です。駐車監視モードの遮断電圧は、設定値の倍の電圧で作動します。

例：11.9Vで設定した場合、 23.8V ($11.9 \times 2 = 23.8$) で遮断されます。

Q. フォーマットした場合、メモリーキーパーしたファイルは消えますか？

A. 消去されます。大事なファイルはパソコンやスマートフォンに保存した後にフォーマットしてください。

駐車容量の変更時にもフォーマットされますのでご注意ください。

Q. 駐車モードからステーションモードへの接続ができません。

A. Wi-Fiモジュールを接続してから、P57～59のWi-Fi 設定（ステーションモード）項目をまず確認してください。

また、車と家（オフィス）の距離が遠すぎてWi-Fi信号が受信できない場合があります。

[製品保証規定]

1. 保証期間は製品を購入した日から2年間です。
2. 取扱説明書に従った正常な使用で故障した場合は、無償で修理または同等品との交換を行います。その際には、本保証書と販売店が発行した購入証明書（レシート等）が必要となります。
3. 次のような場合は保証期間内においても有償修理またはお取扱いできない場合がございます。
 - お客様の取扱い不注意による故障。
 - 本製品を不適切に使用または取扱ったことによる故障。
 - お買い上げ後の輸送や移動時の落下や損傷など。
 - 地震、落雷、風水害、火災、その他の天変地異及び交通事故等による故障及び損傷。
 - 接続している他の機器、及び不適切なカードの使用に起因して本製品に生じた故障及び損傷。
 - 弊社指定のサービス店以外での修理・改造・分解が行われた場合。
 - 消耗品（microSDカードを含む）
 - 本保証書を提示いただけない場合。購入証明書を提示いただけない場合。
 - 修理依頼事項の不具合内容が確認できない場合は基本点検料をご請求させていただきます。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

【企画・発売元】

株式会社TCL

〒465-0024 愛知県名古屋市名東区本郷3-139

URL : <https://www.kk-tcl.co.jp/>

【TCLインフォメーションセンター】

0561-67-5511

受付時間 10:00～18:00（弊社指定休日を除く）

URL : <https://www.smartreco.jp/>

〒470-0153

愛知県愛知郡東郷町和合北蚊谷29-1

製品保証書

製品名	WHSR-1040				
製造番号					
保証期間	購入日	年	月	日から	2年間
お客様	お名前		連絡先		
	住所				
販売店					